

連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1273 2024/02/01 (Thu)

発行 広島高校連絡会事務局

Email renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp

HP <http://ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/>

携帯 090-1180-7644 (村井義幸)

090-9738-8264 (望月照巳)

平川教育長が退任へ

～『仕事』をやり終えましたでなく、『責任』を取って辞任へ！～

今日の中国新聞デジタルでも、同封の資料でも「平川理恵教育長が3月末の任期満了で退任する見通しであることが、31日、分かった」と報じられています。

しかし、「教育改革が軌道に乗った」として「2期6年で区切りをつける」という発表で、私たちが追求してきたお友だち優遇の歪んだ教育行政の押し付けや、突然の学校訪問で「あちこちの『片付け』を強要」したり、文豪赤木かん子氏の図書館リニューアル指導に疑問を呈した学校長に対して「指導に従うように」直接電話で強要したり、教育の原則である現場の意見尊重や、学校の自主性を踏みにじり、広島県の公教育を荒廃させてきました。

「税金の無駄使いを返還せよ」裁判の勝利を！

今、求められていることは望月高校連絡会代表が、訴訟原告団代表となって闘っている「広島＝福山への学校訪問に使用した『タクシー代金 721 万円』、『自らの行政内容の検証に依頼した弁護士費用の3,000万円』等の、税金の無駄使い返還要求」裁判に勝利することです。この裁判を勝利することで、平川グループを断罪することが広島県の県民としての責務ではないでしょうか。そうでなければ、平川グループは「広島でやり切った『教育改革』を新たな地で行います」として、又お友だちと一緒に、税金を懐に入れ込み「金儲け」を繰り返すことを許すこととなります。つまり私たちは、平川グループが再び住民の税金を無駄に使い、懐に入れることは許されないと、通告する義務があると考えます。

教育再生への歩みを止めず

当然のことですが、平川教育長が辞任したことで、広島県の教育が自動的に再生するはずはありません。是正指導以来の「新自由主義」教育は、管理強化と効率化・競争・自己責任の蔓延で、教育の場を株式会社の論理と組織に変えてしまいました。教育には、しっかりゆっくり考えること、競争でなく協力・共同の大切さ、話し合う事の面倒くささと、大切さなどの復権がどうしても必要です。その歩みを止めることなく続けてゆきましょう。

(村井義幸)

- ◎ 先般、大きな話題となったクロネコメール便の代金が、(これまでの75円から150円と) 2倍になったことを受けて今週号は、郵送で120円の「50g」以下となるようニュースと資料3枚に制限させてもらいました。この値上げによって、35名読者に毎週送付すると単純計算で年間12万6千円の負担増となります。
- ◎ 無料読者の皆さんの中に、振込用紙を同封しています。是非現状体制の維持のため、募金ご協力ください。



▼パーティ券という名の企業が、その金の一部がキックバックされる仕組みが、自民党の全体に蔓延してしまいました▼その汚れた金が、何に使われたのか、全容解明をすることなく、安倍派に、しかも安倍晋三氏などの死者に責任を擦り付け、派閥解散で逃げ切ろうとしています▼大手メディアの報道は、ここでもそれぞれの派閥の力関係や、今後の権力闘争分析に力を入れる始末です▼何が今、問われているのか、権力監視の本務とはなにか、それを体現しているのは、しんぶん「赤旗」です。広告費に依存する民放、マスメディアとは鮮やかな対称をします▼京都市長選挙で新しい風を！